

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年11月9日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから11月9日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って、説明をいたします。

まず、明日の委員会定例会の議題は4つです。

議題の1つ目が、柏崎刈羽6号機の大物搬入建屋の杭の損傷ということで、この建屋の耐震強化工事をする中で、7月に杭の損傷が確認されまして、先月、東電からその詳しい状況報告があったことを受けまして、委員会に報告するというものであります。杭の損傷それ自体が安全への重大な問題と考えているものではないですけれども、今後審査を進める対象の施設でもありまして、審査や検査を進める上で委員会の意見を伺う必要があると考えたものということになります。

次、議題の2つ目が、グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの検査結果に関する報告となります。検査におきまして、同社の従業員が管理区域から出る際に、保安規定に基づいた放射線測定を受けていないという事例が確認されたものになります。その案件につきまして、追加対応は必要なしの検査指摘事項として、深刻度はSLIVで、事業者への通知ありと評価した旨を報告するものになります。

次が議題の3つ目ですけれども、技術情報検討会の結果概要です。10月14日に開催された技術情報検討会の結果概要を報告するものになります。

議題の4つ目は、総合職、一般職事務系職員のキャリアパスイメージということです。6月に一般職の技術系職員のキャリアパスイメージを示したところでありまして、検査とか審査の現場の主力が一般職技術系なので、そこを先行して示したのですけれども、ほかの職種が宿題になっていましたので、今回改めて総合職と一般職事務系職員のキャリアパスイメージを示すものになります。

次に、2ページ目の下のほうです。11月15日の（6）核燃料施設等の審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目が日本原電の廃棄物埋設施設の許可ということで、昨年9月から審査が中断していたものでありまして、再開に向けて今の進捗状況を聞くものになります。

2つ目が、日本原燃のほうの再処理施設とMOX施設の設工認となります。前回、10月12

日のコメント回答となります。

委員の現地視察が2つ、既に貼り出してありますけれども、(1)が志賀の現地調査です。石渡委員が来週の18日木曜日と19日金曜日の2日かけて行います。敷地内の断層や敷地外の福浦断層の確認などを行います。取材要領は既に公表してあるとおりです。

次に、(2)が山中委員の19日金曜日の大阪の熊取の視察です。これも公表資料のとおりとなります。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、マチャマさん、お願いします。

○記者 共同通信のマチャマです。よろしくお願いします。

10日、明日の議題1のKK6号の杭の損傷についてなのですが、損傷に対する認識をもう少し教えていただけますか。

○黒川総務課長 あまり加えて申し上げられるようなものはないのですが、そもそも新規制基準に対応する工事に見つかったものでもありますし、新規制基準の前は耐震の重要度が低いクラスの建物であったので、杭が壊れていたこと自体が何か問題だというものではそもそもないものではあります。

ただ、今後審査を進める対象の施設でもありますので、そういう事象が起きたことも受けて、それを報告するものです。

○記者 では、次の設工認の計画の中で、設計そのものだったりを確認するという今後の流れになりそうですか。

○黒川総務課長 ごめんなさい、そこまでは私も分からない。そのこと自体が審査に何かということかどうかはちょっと分からないです。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。